



2024年度（2025年3月期）

第1四半期決算 補足説明資料

2024年8月8日

ぴあ株式会社

東京証券取引所プライム市場

証券コード：4337

- ▶ ライブ・イベント開催の活発な動きが継続し、ぴあ総研の調査でも、コロナ禍前を大きく上回る規模に復調。人気アーティストの全国ツアー、大規模フェス、演劇、スポーツ等のチケット販売が好調に推移した結果、取扱高ベースでの売上は700億円を超える規模となり、四半期単位では過去最高の水準。
- ▶ 新規事業投資や、給与アップを含む人的資本投資等の増加により、前年同四半期比で減益となるも、営業利益、経常利益、純利益とも、すべて期初想定通りに順調に推移。ただし、システム運用費やセキュリティ対応コスト、外払い手数料等の上昇影響は大きく、対応を急ぐ。
- ▶ 通期連結業績予想については、期初(5月)公表の予想数値を据え置くも、全社一丸となり公表数値を上回る着地を目指す。

第1四半期の主な取り組みとトピックス



(1)コンテンツ創出

- ・ぴあと三菱地所主催 ぴあ刊『SODA』 presents「Battle of Rock」をぴあアリーナMMで開催(4月)
- ・『パンのフェス2024 in 埼玉スタジアム2002』(4月)
- ・「森のカフェと緑のレストラン」シリーズが絶好調



(2)チケット販売

- ・チケット取扱高は700億円超で四半期単位では過去最高の水準を達成
- ・大阪・関西万博のチケットング業務を全面的に受託し、入場券を販売中。パリ五輪後の盛り上がり期待



©Expo 2025

(3)ヴェニューネットワーク

- ・「ぴあフェス」をはじめ、周辺エリアや駅構内とも連動した地域ぐるみの街イベントを11月に開催すると発表
- ・三菱地所との合併会社「MECぴあクリエイティブ」が「ドラゴンクエストカーニバル in 横浜・みなとみらい」にてカフェを運営(7月～)



(4)ぴあのコミュニティ

- ・ぴあカード、会員数33万人を突破
- ・アプリ版ぴあ、ダウンロード数は約185万人
- ・朝日新聞との協業によって設立したぴあ朝日ネクストスコープは多角的に事業を展開中



(5)サステナブルな人材・文化の育成

- ・ぴあ総研集客エンタメ産業の社会的意義について提言するシンポジウムを開催(5月)
- ・日本航空とPFFが連携し、JALの国際線&国内線機内で、PFFアワード受賞作の上映がスタート(5月～)
- ・ぴあスポーツビジネスプログラム第4期開講(4月～)

